



「あいち赤い羽根応援団」の募集について

愛知県共同募金会では、本会を通じて、県内のさまざまな地域福祉の課題解決に貢献いただける企業、団体（以下、企業等という。）を募集しています。

共同募金は、地域の多様な課題解決のために役立てられています。

少子高齢化社会を迎え、高齢化による老々介護や地域の過疎化、障がい者の就労などの社会参加、次世代を担う子どもの健全育成など、現在の日本は様々な社会課題や地域課題に直面しています。頻発する災害への備えや、災害が起こってしまった時の被災地支援なども大きな課題となっています。

本会では、こうした課題を解決するための貢献をしたい企業等を、「あいち赤い羽根応援団」として登録し、ともに課題解決に向け取り組んでいただきたいと考えております。ご応募をお待ちいたしております。

1 応援団登録のための要件

ご登録いただける場合は、次に掲げる事項のうち、3つ以上の取組みをお願いいたします。また、活動状況の写真等のご提供をお願いいたします。

(1) 毎年又は毎月、継続した本会への寄付（広報資材の特別協賛寄付、災害時に備えての寄付を含む。）

なお、寄付金額は任意ですが、広報資材の特別協賛としての寄付は、1年につき10万円以上をお願いします。

- (2) 物品や特定の商品の売上げの一部を寄付
- (3) 社会貢献型自動販売機を設置
- (4) 職場内イベント等で募金活動を実施
- (5) 店頭や受付に募金箱を設置
- (6) 街頭募金やイベント募金でのボランティアに協力
- (7) 店頭や掲示板、広告スペースなどに、赤い羽根のポスターやステッカーを掲示
- (8) その他、本会の行う事業、広報活動等への協力

2 応援団に対する本会の取組み

ご登録いただいた企業等には、次に掲げる事項について協力をさせていただきます。

- (1) 「あいち赤い羽根応援団」登録証を発行
- (2) 本会のホームページ上で、社会貢献活動を広報
- (3) 年間7万円以上の寄付には、感謝状を贈呈
- (4) 「赤い羽根」やシンボルキャラクター「愛ちゃんと希望くん」のロゴ等を提供
- (5) 広報資材特別協賛としての寄付に対しては、企業名入りの資材「絆創膏、バレーン」を作成し、本会の行う募金運動時等に広く県民に配付

3 登録申込及び退会

- (1) ご登録いただける場合は、「あいち赤い羽根応援団」登録申込書を、本会にご提出ください。（郵送、FAX、メールいずれも可）
- (2) 退会の場合は、電話、メール等により、本会にお申し出ください。



社会福祉法人 愛知県共同募金会

〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目50番地（愛知県社会福祉会館内）

TEL 052-212-5528 FAX 052-212-5529

e-mail: info@aichi-akaihane.or.jp <http://www.aichi-akaihane.or.jp/>

※ お取り組みの参考としていただければ幸いです。

企業寄付・法人寄付

企業の社会貢献として、寄付いただく方法です。法人税の優遇措置の対象となります。

- ・ 周年事業の記念として一定額を寄付する。
- ・ 社員からの寄付に、企業としても寄付の同額や一定割合をプラスして寄付する。(マッチングギフト)

社員寄付

社員の方から寄付を募る方法です。

- ・ 社内に募金箱を設置したり、封筒を回覧して寄付を募る。
- ・ 給与や賞与から一定額を天引きして、自動的に寄付する。
- ・ 社員共済など福利厚生プログラムの記念品に代えて、寄付を選べるようにする。
- ・ 社内食堂や売店で、寄付つきメニュー・寄付つき商品を販売する。

顧客や株主による寄付

お客様や株主などから広く寄付を募る方法です。

- ・ 店頭や会社受付に募金箱を設置する。
- ・ 株主優待商品に代えて、寄付を選べるようにする。

寄付つき商品の販売

本業と連動した社会貢献として「寄付つき商品」があります。また、「社会貢献型の自動販売機」も設置いただけます。

- ・ 特定の商品の売上げから一部を寄付したり、定価に寄付額を上乗せして販売する。
- ・ 社会貢献型自販機(募金ができたり、売上げの一部が寄付となる自販機)を、社内外に設置する。

イベント募金

社内外のイベントで寄付を募る方法です。

- ・ 忘年会、ゴルフコンペ等で会費の一部を寄付する。
- ・ チャリティコンサート、チャリティマラソンなどを開催して、参加費を寄付する。
- ・ 企業内マルシェ、フリーマーケットなどの売上を寄付する。
- ・ イベント会場や店頭で、募金箱を設置して、広く寄付を募る。

ノベルティグッズの購入

- ・ 赤い羽根オリジナルのプリペイドカードに、企業名等を入れ、記念品として活用する。
- ・ 赤い羽根オリジナルの寄付つきグッズ(募金バッジなど)を、記念品として活用する。

人材・技術・場所の提供

街頭募金やイベント募金でのボランティアに協力する。

- ・ 講演会やセミナーなどへの企画や講師派遣に協力する。
- ・ プロボノ(専門スキルを生かしたボランティア)として協力する。(例: 広報、デザイン、PRビデオ、編集、マーケティング、調査研究など)
- ・ 会議やイベント会場など、場所を提供する。

広報協力

店頭や掲示板、広告スペースなどに、赤い羽根のポスターやステッカーを掲示する。

- ・ 会報やパンフレット、社内報などに、赤い羽根募金の広告を無償で掲載する。
- ・ 大型ビジョンやホームページで、赤い羽根のCM動画を放映する。
- ・ 新聞・雑誌・テレビなどで、自社の広告枠を使って赤い羽根CMを掲出する。